



二俣川小だより

9月号

～笑顔いっぱい 友達いっぱい～

横浜市立二俣川小学校

令和4年8月29日



子どもたちの笑顔が戻ってきました

校長 泉 太郎

39日間の夏休みが終わりました。久し振りに子どもたちの元気な声を聞き、笑顔を見ることができうれしく思いました。多くの子どもたちは、友達に会えることや学校で活動することを楽しみにし、学校再開を待ちわびていたのではないかと思います。同時に、長い休みで生活リズムが崩れたり、ご家庭で過ごす時間が楽しみだったりすることが原因で、学校再開を辛く感じている子どもたちも少なからずいると思います。学校では夏休み明けのこの時期、特に丁寧に子どもたちの様子を見ていきます。ご家庭でも体調面を含め、お子さんの様子についてご留意いただき、ご心配・ご不安なところがあれば、担任や児童支援専任までご連絡ください。

今年の今頃は、緊急事態宣言が再発令され、8月末の臨時休校、9月1日からの分散登校等、2年目になっても収まらない新型コロナウイルス感染症への対応に学校は苦慮していました。今年も行動制限こそかかっていないものの、感染の状況は改善されず、本校においても学校関係者の感染が確認されています。収束の気配すら感じられない状況ですが、それでも、教育活動は、この数年の感染症に対する対策や経験を踏まえ、形を変えながらも進めていくこと必要だと感じています。夏休み前を振り返ると、二小運動会は参観人数を増やして実施、学級（学年）懇談会・授業参観の早期実施、家庭科で実際に食べることを伴った調理実習など、昨年度実施できなかったことに取り組むことができました。3年振りに日光修学旅行を実施することもできました。水泳学習については区内小学校でも対応は様々で、今年度も実施を見合わせたり、学年を限定して実施したりする学校もある中、本校は安全対策を見直し、回数は少なくとも全学年実施に取り組みました。残念ながら7月中旬から感染状況が悪化し実施を見合わせましたので、実施回数にばらつきが出てしまい残念でしたが、1年生から3年生は初めて学校のプールを経験することができ来年の水泳学習につなげることができました。

学校再開後は子どもを含めさらに感染者が増えるのではないかと報道もあります。先にも触れましたが、学校はこれまでの経験をいかしながら、感染症拡大防止に留意し、安全・安心な教育活動に取り組んでいきます。子どもたちや教職員は、引き続き「あ・い・て・ま・す・か」の基本的な感染症拡大防止対策に取り組んでいきます。各ご家庭におかれましても、お子さんの健康観察等にご協力いただき、発熱・咳・腹痛症状等、体調がすぐれないときには、無理せずご家庭での休養をお願いいたします。9月以降は、5年生や4年生の宿泊体験学習をはじめ、他の学年でも校外学習を計画しています。また、全校遠足や二小音楽会の実施も計画しています。感染症対策を十分にしながら実施していきませんが、状況により活動内容を変更・縮小・中止する場合があります。ご理解の上ご協力いただきたく思います。よろしく願いいたします。



3年ぶりの日光修学旅行！

7月3日・4日、日光修学旅行を実施しました。感染症の影響を受け、3年ぶりの実施となりました。バス、体験施設、宿舎等、いずれも



感染症対策がしっかりとされている中で、安心して活動することができました。子どもたちは華厳の滝や湯滝などの美しい自然に触れ、東照宮や輪王寺などで



歴史を感じ、日光彫で伝統産業を体験し、そして、何よりも宿舎などでの友達との交流により、充実した2日間を過ごせたように感じました。